

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和6年 5月 4日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
和歌山県岩出市中島928番地
氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
藤本食品株式会社
代表取締役 藤本典子
第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	藤本食品株式会社 代表取締役 藤本 典子
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	和歌山県岩出市中島928番地

1 事業所の概要

事業所の名称	藤本食品株式会社 滋賀工場						
事業所の所在地	滋賀県守山市勝部4丁目1241						
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号		9	9	6	※ 産業分類・細分類名称を記載 惣菜製造業	
事業の概要	弁当・惣菜・寿司類及びめん類の製造販売						
従業員の数	396		人		操業時間		24 時間／日
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者						
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者						
	☐ 任意提出事業者						
主要な設備	ボイラ	4	台	熱源設備	9	台	照明設備 550 台
	コンプレッサ	3	台	空気調和設備	105	台	その他

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	4 年度	報告対象年度	5 年度
	終了年度	6 年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

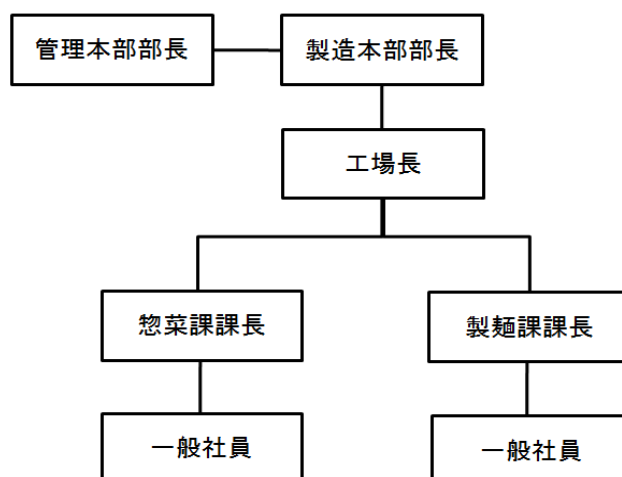
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

藤本食品株式会社は、「より良いものをより安く」をモットーに、お客様から「安くて美味しい」と喜んでいただける食作りを目指して、食品製造しています。

私たちは、企業が成長し続けるためには、環境の保全を目的として、企業活動に伴って発生する環境への負荷を最小限に留めることが最も重要であることを認識しております。
事業活動から生じる環境への負荷を適確に捉え、問題がない範囲で、目標を設定し、環境の保全と向上を図るため、次の施策を推進します。

1. 環境に配慮した商品の提供に努めます。
2. 省エネルギー・省資源に取り組みます。
3. 廃棄物の削減と再資源化に積極的に取り組みます。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- 製造品種を弊社他工場とで集約し生産性の改善
- 大型コンプレッサーを小型並列交互運転機器に変更し台数制御運転の実施
- ボイラー全台を高効率機器に入替、台数制御運転の実施
- 全館LED照明に変更
- コンテナ洗浄機を省エネ・自動化機器に更新
- 熱交換器の設置により熱回収の実施
- 空調機・冷凍機を順次高効率インバーター機器に入替実施
- 排水設備の改善し不可低減により二酸化炭素の排出量削減

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	10年使用を目的に空調・冷凍機の省エネ機器への入替	R4年～R6年	現在計画的に更新
2	設備導入	排水設備改修による低負荷運用の実施	R5年	令和6年1月に導入
3	設備導入	高効率オープンに機器更新	R4年	交換済みのため、稼働に問題ありのため現在通常運転
4	設備導入	蒸気ドレントラップを高性能型に交換し廃熱ロスの削減	R4年～R5年	釜のトラップに3基のみ設置
5	運用改善	温度センサーによる室外機への自動散水	R4年～R6年	散水は手動にて開始

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
令和3年度を基準年として、原単位で毎年1%以上の削減を目標とし、達成を目指します。 ※原単位＝温室効果ガス(t-CO₂)/生産数量(十万個) ・原単位での目標につきまして、生産数量の増減により温室効果ガスの排出量が大きく影響を受けるため生産数量を(分母)として設定し管理致します。 ・上記取組みによる削減効果を評価するため、電力のCO₂排出係数は計画基準年度の係数に固定します。	生産量が毎年、毎月不安定なため安定的な削減は難しい物のある程度のラインでコントロールは出来て来ている。全事業所での製造量の安定化を図るため継続的に取組み実施。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	1,921	2,015	2,080			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,013	3,426	3,588			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,013	3,426	3,588			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0			
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移			50.470	0.294			

備考 「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	なし		
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	工場建屋で再エネ導入出来る事案を検討対象していく
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂						
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂						
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh						
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂	0	0	0			
クレジットの購入	t-CO ₂	0	0	0			
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	自転車利用 の促進	近隣での採用活動を積極的にを行い、自転車通 勤者の割合を増やす	R4～	積極的に採用活動中
2	自転車利用 の促進	技能実習制度の雇用者に対して、自転車の支 給と自転車通勤範囲での住居の選定	R4～	継続して実施
3	物流の合 理化	弊社工場間の輸送便の削減を目標とし、積載 率を適正に管理する	R4～	トラックの減便実施

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
保有車輛の数	台	6	5	6			
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	6	5	6			
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	工場内発生の食品廃棄物はすべてリサイクル業者に処理 委託を行い、飼料化による100%リサイクルを行います	R4～	現在業者選定中
2	3R	製造工程で発生する再利用可能な廃棄物(缶、プラス チック、紙、食用油)を適正なリサイクル業者に処理委託 します	R4～	現在業者選定中
3				
4				
5				